

SDGsの達成に向けた重点的な取組み宣言書

作成日: 令和6年6月26日

事業者名: 株式会社オセアノ山下

三側面	SDGsの達成に向けた重点的な取組み	関連するSDGsゴール (最大3つ)	実績	指標・目標	
環境	オセアノ山下では、電気等のエネルギーの無駄遣いを省き、節電を会社として推進することで「7. エネルギーをみんなにそしてクリーンに」のSDGs活動を行っております。会社として節電の規則と呼びかけを行う事で、会社全体として節電の意識改革も行っております。	⑦エネルギーをみんなにそしてクリーンに	2024年1月から、社内規則として、節電実施を掲げ、不要な電力消費の削減を行っている。	指標	事業活動における消費電力の削減。
				目標	2030年までに、事業における節電を継続して行い、無駄な電力を使わない事が当たり前の会社とする。
社会	オセアノ山下では、自動車という日常生活に深くかかわる業界で仕事を行っているからこそ、社内でも技術力の向上を目的とした勉強や、新しい技術「電気自動車」に関する勉強を行う事で、より多くの方に対して、適切なサービスと社会インフラを支える仕事をしております。	⑨産業と技術革新の基盤をつくろう	2024年1月に社内にて、販売・修繕を行う自動車についての勉強会を実施。技術力と知識の向上と共に、車が生活において必要不可欠な岐阜で暮らす方へのサービスを甲お嬢させる事で、社会インフラを支える活動に繋がっております。	指標	技術力と知識の向上を目的とした社内勉強会の実施。
				目標	2030年までに、勉強会の開催を月に1回以上とする。
経済	オセアノ山下では、従業員が働きやすい環境づくりを創る為に、顧問の社労士と共に就業規則の見直し等を定期的に行っております。世の中の働き方の変化に合わせ、従業員と定期面談を通して、働き方への希望をヒアリングし、就業規則への反映へと繋げております。	⑧働きがいも経済成長も	2024年4月から、社内規則を変更・記述化し、特別休暇制度の設定を行った。	指標	従業員の働き方の変更、ワークライフバランスの重視に伴う働きがいの満足度の上昇。
				目標	半年に一度の従業員との面談において、ワークライフバランスへの意識と働く意欲に関する項目を追加。5段階の評価（1が最低5が最高）をしてもらい、平均4点以上を目標とする。
ガバナンス	チェック				
	<input checked="" type="checkbox"/>	SDGsの達成に向けた重点的な取組みが従業員に共有されており、かつ達成するための仕組みが組織内に構築されている(PDCAサイクル等)。 <具体的な内容を記載> ■重点項目についてホームページへの記載と従業員への周知を行っております。 ■半年に1度の面談の際に重点項目のSDGs活動についてのヒアリングと意見交換・意識共有を行い、PDCAサイクルを回す仕組みとしています。			
ガバナンス	チェック				
	<input checked="" type="checkbox"/>	SDGsの達成に向けた重点的な取組みをホームページ等で対外的に公表している。 SDGsの取り組みについての特設ホームページ： https://design-p.com/oseano/			